

蘇つた妖しのものたち

—— 日本文化の中の幽霊と妖怪 ——

飯倉義之（國學院大學教授）

現代の街には「この世ならぬもの」が溢れかえっている。こういうと、違和感があるだろうか。しかし、それはまぎれもない事実なのである。

妖怪はエンタテインメントにおいてキャラクター化され、マンガ・アニメ・小説・ドラマ・ゲームなどの題材となって人気を博している。また自治体などのPRマスコット、いわゆる「ゆるキャラ」にも妖怪由来のものが多数存在する。なかでも2020年に社会現象ともなった「アマビエ」は記憶に新しい。新型コロナウイルスの猛威のさなか、疫病を予言した江戸の瓦版の妖怪としてもはやされ、一躍流行対策のアイコンとなった。このように、図像化された怪異・妖怪が当たり前に存在する世の中になっているのだ。

だが、そもそも怪異・妖怪は図像化されるものではなかった。上代・



中古においてはそれらは真剣な恐怖の対象で、忌避すべき存在であり、図像化などもつてのほかだった。妖怪が図像化され始めるのは平安時代末期から中世にかけての時期となる。

この時期に制作された絵巻物には、武将や高僧の「妖怪退治」を主題とするものが多くある。人間も神仏の加護を得れば「この世ならぬもの」を退散し得るのだという認識が広まり、そうした偉業を絵巻物などにして武士団や社寺のPRに活かすようになったためである。

そうして江戸期には、民俗学者の香川雅信が「妖怪革命」と呼んだ大変革が起きる。妖怪が庶民の娯楽として、浮世絵や草双紙、おもちゃ絵などで図像化され、手軽に手に入るようになったのである。この時期の円熟した妖怪画は、本書にも多数収録されている。

日本の妖怪と幽霊大全 CONTENTS

生誕100周年！

水木しげると妖怪の世界

ビジュアル怪異特集

本当に怖い、でもそれだけじゃない

妖怪画・幽霊画

死後に赴く極苦の世界

地獄めぐり

日本の自然と生活の中に宿る隣人たち

日本の妖怪大図鑑

全国妖怪マップ

日本三天妖怪 其ノ壹 鬼

日本三天妖怪 其ノ貳 天狗

日本三天妖怪 其ノ参 河童

妖怪スポット探訪①

水木しげるゆかりの街めぐり

山や野に棲む妖怪

海や川に棲む妖怪

町や里に現れる妖怪① —— 人を驚かす妖怪

なめまわす妖怪

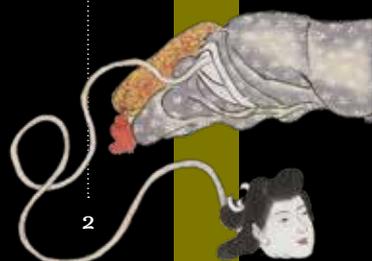
不気味な「目」を持つ妖怪

奇妙な姿をした妖怪

小僧の姿をした妖怪

妖怪スポット探訪②

東京の妖怪伝説めぐり



しかしその後、明治維新と文明開化の荒波の中で妖怪は、井上円了の妖怪学で代表される西洋科学の合理精神によって「迷信」として軽んじられ、凋落の道を迎えることになる。妖怪を信じることは無知の表明となったのである。柳田國男は民俗学の立場より、妖怪に民俗文化としての価値を見出したが、それはあくまで学問の世界のことであった。そのままだったら妖怪は過去の「迷信」として、忘れられていたのではないだろうか。

ところが、そうはならなかった。妖怪を現代に蘇らせた立役者がいたのである。それがマンガ家の水木しげるだ。山陰の境港で妖怪を肌身に感じて育った水木は、マンガ『ゲゲゲの鬼太郎』にたくさんの妖怪を登場させた。その妖怪たちは江戸期の妖怪画のビジュアルと、柳田國男の『妖怪談義』の民俗事例をもとにキャラクター化されたものであった。近世文化の妖怪と民俗文化の妖怪は水木の手によってマンガ作品に転生し、鬼太郎の大人気とともに現代に蘇ったのである。もちろん、妖怪をマンガ化したことの功罪はあるだろう。しかし、もし水木しげるが、鬼太郎がいなかったのなら、妖怪という文

化は忘れさられていたかもしれないのだ。水木は妖怪文化の延命に大きく寄与した偉人だといえる。水木しげるの生誕100年を迎え、その業績を再び見つめ直す必要があるだろう。日本の妖怪や幽霊の文化を見つめ直すと、古代には真剣な恐怖の対象であったが、時代が下るにつれ討伐の対象となり、近世以降は娯楽化が進んだ。それでもなお私たちは妖怪や幽霊に、不思議へのロマンとともに一抹の不安——真剣な恐怖——を持ち続けている。その感性が続く限り、妖怪や幽霊は伝えられていくのではないだろうか。本書がその継承の手助けとなれば幸いである。

飯倉義之(いいくら よしゆき)

1975年、千葉県生まれ。國學院大學日本文学科教授。國學院大學大学院修了後、国際日本文化研究センター機関研究員などを経て現職。専門は民俗学、口承芸学、現代民俗。共編著に『ニッポンの河童の正体』(新人物往来社)、『日本怪異妖怪大事典』(東京堂出版)、『怪人熊楠、妖怪を語る』(三弥井書店)などがある。



町や里に現れる妖怪②——女性の姿をした妖怪

婆の姿をした妖怪

動物の姿をした妖怪

人か？ 妖か？ 伝説の妖怪たち

Column 疫病から守つてくれる妖怪

妖怪スポット探訪③

京都の妖怪伝説めぐり

列をなして闇夜を練り歩く妖怪たち

『百鬼夜行絵巻』に見る付喪神

あなたの身のまわりにも妖怪が……

鳥山石燕が描いた付喪神

妖怪変化の怪奇と戦った少年の実録物語

『稻生物怪録』と魔王・山本五郎左右衛門

各地で語り継がれる怪異と悲話

全国妖怪・幽霊ゆかりの寺社めぐり

江戸の人々を震わせた亡霊譚

日本四大幽霊

怖いのは女だけじゃない！

江戸庶民に愛された男の幽霊

失意のうちに死んだ貴人たちの亡魂

祟りをなした怨霊たち

巻末特集 現代の怪異①

戦後妖怪エンタテインメント史

巻末特集 現代の怪異②

現代怪談 怖い話ベスト10 朝里樹

